

令和7年度 大阪府立高槻北高等学校 第3回学校運営協議会 議事録

校 名	府立高槻北高等学校
-----	-----------

開催日時	令和7年1月27日(火) 15:30~16:30
開催場所	府立高槻北高等学校 1F 校長室
出席者(委員)	本村 康哲 会長 松岡 洋之 委員 江河 千波 委員 中西 恵 委員 堀田 佳子 委員 柏原 泰和 委員
出席者(学校)	山脇 和美(校長) 伊藤 倫隆(教頭) 山地 謙一郎(事務長) 上田 千歳(首席) 松本 庸子(首席) 山本 京子(総合調整部長) 田中 誠(記録)
傍聴者	なし
協議資料	① 令和7年度 第3回学校運営協議会次第 ② 委員名簿ならびに本校出席者一覧 ③ 配席図 ④ 令和7年度 学校経営計画及び学校評価(A4:2枚) ⑤ 令和8年度 学校経営計画及び学校評価 ⑥ 令和7年度 学校教育自己診断(生徒用・保護者用・教員用)
備考	
議題等(次第順)	
開会宣言(教頭) 開会挨拶(校長) 本日の審議内容 令和7年度学校経営計画及び学校評価達成状況(校長) 令和8年度学校経営計画及び学校評価案(校長) 令和7年度学校教育自己診断結果(首席 松本) 質疑応答ならびに協議 閉会挨拶(校長) ・閉会宣言(教頭)	

協議内容・承認事項等（意見の概要）	
1. 開会 校長より挨拶 2. 令和7年度 学校経営計画及び学校評価 校長より今年度の取組内容及び自己評価についての達成状況を報告。 大教大主催の講座を受講する者が1人もいなかった。 大学入学共通テスト出願者の評価数目標は140人以上であったが、実際は108人であった。 3. 令和8年度 学校経営計画及び学校評価 校長より来年度の取組内容及び自己評価についての案を報告。 中期目標として、「労働安全衛生」を追加した。ICTの活用により、校務運営の効率化を図ることで教師の負担を減らす狙いがある。 4. 令和7年度 学校教育自己診断結果 首席(松本)より令和7年度 和7年度 学校教育自己診断の質問項目について説明。 ・平日の授業以外での一日の平均時間で、1年生は勉強をしていないが31%もあった。 また、3年生は勉強をしていないが19%あり、これは指定校推薦で決まった生徒を含んでいると思われる。 ・生徒指導は厳しいと言われているが、大体の生徒は指導に納得している。 ・教育相談体制で、生徒の学級担任以外の教職員とも相談できるが、74%に下がっている。 ・教育のICT関連は74%に下がっている。 ・校内研修・相互授業見学などによる授業改善の必要性は58%に下降している。 5. 質疑応答 (質疑)共通テストの志願者の数値が減っても、目標を持って就きたい就職先があれば、そのような数値にこだわる必要はないのでは。 (応答)数値は出さなければならなければならない事情がある。 (質疑)指定校推薦希望者が年々増えているが、受験生を持つ親の立場ではどうか。 (応答)早く決めて落ち着きたいと思っている。 ICTを使った授業 必ずしもきちんと理解させられるとは限らない・授業改善につながるかどうかは分からない 生徒達の記憶にどれだけ残っているか・AIに頼ると思考力がなくなる・聞いたことをノートにメモする前に情報を頭の中で処理する力が低下している・めくる・書くことは大事・板書もうまく伝わる・生徒達は負担にならないが、先生の負担が減るかどうかが ICTの積極的活用 校務運営のいっそうの効率化を図ることだが、ICT中心になり、逆に生徒とのコミュニケーションがなくなることを懸念している意見があった。 ※他にも、委員の方々よりたくさんのご意見を聞かせていただいた。 7. 閉会 ・閉会挨拶（校長） ・閉会宣言（教頭）	
次回の会議日程	
日時	未定
会場	本校(未定)